

第60回全日本社会人バドミントン選手権大会の申込みについて

日頃は社会スポーツの振興のためにご協力を賜り厚く感謝いたします。
さて、標記大会が広島県広島市の広島県立総合体育館・他において開催されます。
申込みについては次のとおりお願い申し上げます。

記

1. 申込方法
 - ①愛知県協会公式サイト「<http://www.badminton-aichi.com/>」のお知らせ一覧に掲載される申込みファイル（excel）をダウンロード、必要事項をパソコンで入力し保存する
 - ②Eメールにて以下のメールアドレスに、保存した申込みファイルを添付して送信する
asb2017@badminton-aichi.com
※必ずパソコンからのEメールを受信できるメールアドレスで送信してください
 - ③確認後担当より振込先等をEメールで返信するのでそこに記載の口座に参加料を振込む
※振込み後の選考結果により参加不可となった場合は、返金します
※パソコンでファイルを送信できない環境の場合、その他申込みに関する質問は次の担当者までお問合せください 競技委員会 浅井淳（携帯：090-3255-8024）
2. 申込締切日 平成29年6月23日（金）必着
 - ※男子複・女子複・混合複においてパートナーが愛知県以外の場合は、その都道府県の出場権をご確認した上で申し込みをお願いします
 - ※パートナーの所属の都道府県協会からの参加申し込みも必要ですので、両協会からの申し込みを必ず行ってください
 - ※混合複の申し込みにあたっては、男子・女子の順で記入をお願いします
 - ※出場者の選考結果は、愛知県選手名簿として各チームにお送りします
3. 大会概要
 - 期 日：平成29年9月1日（金）～9月6日（水）
 - 開会式：平成29年9月1日（金）15：30～
 - ※トーナメント表、タイムテーブルなどは開催団体より連絡があり次第、愛知県バドミントン協会公式サイトに告知します
 - 公式サイトがご覧になれない方は、下記の担当者にご連絡ください
4. 参加資格 別紙、「平成29年度 愛知県代表選手選考基準」による
5. 宿泊弁当 各チームで添付資料の旅行社に申込みこと
6. その他 この大会についての問い合わせ先 浅井 淳 （携帯：090-3255-8024）

以上

第60回全日本社会人バドミントン選手権大会要項

- 1 主催 公益財団法人日本バドミントン協会
- 2 主管 広島県バドミントン協会
- 3 後援 広島県・広島県教育委員会・公益財団法人広島県体育協会
広島市・公益財団法人広島市スポーツ協会・中国新聞社
- 4 期 日 平成29年9月1日(金)～6日(水)
開会式 9月1日(金) 15:30～
前日練習 9月1日(金) 開会式終了後 ～ 19:00
競技 9月2日(土)～6日(水)
閉会式 9月6日(水) 競技終了後(15:00頃を予定)
- 5 会場 第1競技場 広島県立総合体育館 大アリーナ(16面)
第2競技場 広島県立総合体育館 小アリーナ(10面)
広島県広島市中区基町4-1 電話:082-228-1111
第3競技場 マエダハウジング東区スポーツセンター(10面)
広島県広島市東区牛田新町1-8-3 電話:082-222-1860
- 6 種 目 (1)男子単 (2)男子複 (3)女子単 (4)女子複 (5)混合複
- 7 競技規則 平成29年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による
- 8 競技方法 各種目ともトーナメント方式とし、3位決定戦は行わない
- 9 使用用器具 (公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び平成29年度第1種検定合格水鳥球を使用する
- 10 参加資格 D及びEの項目の資格を有し、各都道府県バドミントン協会加盟者で平成29年6月1日までに(公財)日本バドミントン協会に一般社会人として会員登録を完了し次のABC各項目のいずれかに該当する者
A 前年度本大会の男子単・複、女子単・複、混合複ランキング8位以内
B 本大会申し込み締切時の日本ランキング男女単・複16位以内
C (公財)日本バドミントン協会決定の各都道府県割当数以内
D 日本国籍を有する者または日本国で出生し引き続き国内に居住している者
E (公財)日本バドミントン協会公認審判員の有資格者であること
- 11 参加制限 (1)各都道府県割当数は、男女各単1、複1を基礎割当とする
(2)平成28年度(公財)日本バドミントン協会登録区分〔一般〕の各都道府県登録者の3%を乗じて割り当てる なお、この数は(1)の外数である
(3)都道府県ごとに参加者が割当数に満たない場合には、主管県の判断により追加参加を認めることができる
(4)1選手は2種目以内の参加とし、単と混合複は兼ねられない
- 12 組み合わせ (1)(公財)日本バドミントン協会指名の競技役員長(レフェリー)もしくは、競技審判部長(デピュティレフェリー)の指示の下、主管団体役員との間で厳正に執り行う。
(2)シードは、参加資格Bのランキングによって行う 尚、併せて平成29年度(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第5章第28条～32条(シードを除く)を適用する
- 13 参加料 (1)各種目とも、一人一種目 7,000円(複は一組 14,000円)

14 申込締切日

15 申込方法

※愛知県内用案内をご覧ください

16 申込場所

17 着 衣 平成29年度(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第23条及び第24条による。

18 宿 泊 別紙宿泊要項による

19 表 彰 (1)優勝者に優勝杯(持ち回り)、並びにレプリカ及び(公財)日本バドミントン協会より金メダルを授与する
(2)第2位及び第3位の選手に(公財)日本バドミントン協会より銀、銅メダルを授与する
(3)各種目とも、第1位から第3位までの選手に表彰状を授与する

20 大会事務局 〒733-0035

広島市西区南観音8-12-20 ニシヒロ本社屋1F

広島県バドミントン協会

第60回全日本社会人バドミントン選手権大会事務局

電話:082-275-6878 (FAX共通)

メールアドレス hirobad@hi.enjoy.ne.jp

21 代表者会議 平成29年9月1日(金) 広島県立総合体育館(大アリーナ)

及び開会式 代表者会議 15:00~ 広島県広島市中区基町4-1 電話:082-228-1111

開 会 式 15:30~

(注)各都道府県から、代表者会議・開会式には2名以上必ずご出席ください。なお、別紙にて出席者氏名を6月30日(金)までにご報告ください。

22 備 考 (1)大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に使用することはありません

(2)①本競技会は日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である

②本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなす

③20歳未満の者については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続きに対する親権者からの同意書を所属競技団体へ別途提出しているもののみエントリーできる

④本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること

⑤日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること

- (3) (公財)日本バドミントン協会環境委員会からのお願い
- ① (開催地の) ゴミの分別収集にご協力ください
 - ② (宿泊先の) 部屋から出るときは、エアコン・テレビ・ライトのスイッチを消してください
 - ③ マイ歯ブラシを持参して大会に参加してください
- (4) 病気・事故に備えて、各自健康保険証を持参してください。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします
- (5) 厳正を期すために、申込期限・申込方法・宿泊申込について、特に期限等を留意してください
- (6) 他の都道府県の選手と組んで複の種目に出場する場合は、両方の都道府県より申し込むこと
- (7) 本大会は敗者審判制(線審のみ)を導入します

1. 主旨

平成 29 年度に開催される以下の大会に出場を希望する選手の選考基準について述べる。

- (1) 第 60 回全日本社会人バドミントン選手権大会（以下、全日本社会人）
- (2) 第 34 回全日本シニアバドミントン選手権大会（以下、全日本シニア）
- (3) 第 70 回中部日本バドミントン選手権大会（以下、中部日本）

2. 全日本社会人

(1) 申込み資格対象大会

- ①平成28年度の県社会人選手権大会出場者
- ②平成29年度の県総合選手権大会出場者
- ③平成29年度の国体県予選（成年の部）出場者
- ④平成29年度の春季新人戦出場者
- ⑤平成29年度の秋季新人戦出場申込者

(2) 選考方法

- ①平成28年度の全日本社会人でベスト 8 に入った者及び日本ランキングのベスト 16 の者は、選考対象及び参加枠数外とする。
- ②申込み資格対象大会の上位入賞者より、参加枠数に応じ決定する。
- ③参加枠数への優先順位は、(1) の申込み資格対象大会の記載順とする。
但し、参加申込み数が参加枠数を超えた場合、(1) の①を優先し②～⑤の成績を総合的に判断し決定する。
- ④複・混合複は、選考対象大会のパートナーでなくても出場可とするが、いずれの選手とも(1) の申込み資格対象大会への参加が必要とする。
- ⑤参加枠内での参加申込数の場合、(1) の申込み資格対象大会参加のみで可とする。
この場合、申込み資格対象大会の初回戦での棄権は問わない。
- ⑥申込み資格対象大会の参加種目は問わない。
- ⑦最終選考は、競技委員会一任とする。
- ⑧公財) 日本バドミントン協会公認審判員の有資格者であること

(3) 大会への申込みランキング

- ①全日本社会人の参加資格
A（前回大会ベスト 8）・B（日本ランキングベスト 16）
- ②①項以外は、申込み資格対象大会の(1) の②の成績を基本に他の各成績を総合的に考慮し、決定する。
- ③申込みランキングは、競技委員会一任とする。

3. 全日本シニア

(1) 申込み資格対象大会（2 項の全日本社会人と同じ）

- ①平成28年度の県社会人選手権大会出場者
- ②平成29年度の県総合選手権大会出場者
- ③平成29年度の国体県予選（成年の部）出場者
- ④平成29年度の春季新人戦出場者
- ⑤平成29年度の秋季新人戦出場申込者

(2) 選考方法

- ①平成28年度の全日本シニアでベスト 16 に入った者及び 65 歳以上の種目出場希望者の者は、選考対象及び参加枠数外とする。
- ②申込み資格対象大会の上位入賞者より、参加枠数に応じ決定する。
- ③参加枠数への優先順位は、(1) の申込み資格対象大会の記載順とする。
但し、参加申込み数が参加枠数を超えた場合、(1) の①を優先し②～⑤の成績を総合的に判断し決定する。
- ④複・混合複は、選考対象大会のパートナーでなくても出場可とするが、いずれの選手とも(1) の申込み資格対象大会への参加が必要とする。

- ⑤参加枠内での参加申込数の場合、(1)の申込み資格対象大会参加のみで可とする。
この場合、申込み資格対象大会の初回戦での棄権は問わない。
- ⑥申込み資格対象大会の参加種目は問わない。
- ⑦最終選考は、競技委員会一任とする。
- ⑧(公財)日本バドミントン協会公認審判員の有資格者であること
- (3) 申込みランキング
 - ①全日本シニアの参加資格(前回大会ベスト16)
 - ②①項以外は、申込み資格対象大会の(1)の②の成績を基本に他の各成績を総合的に考慮し、決定する。
 - ③申込みランキングは、競技委員会一任とする。

4. 中部日本

4. 1 一般・年代別

- (1) 申込み資格対象大会(2項の全日本社会人と同じ)
 - ①平成28年度の県社会人選手権大会出場者
 - ②平成29年度の県総合選手権大会出場者
 - ③平成29年度の国体県予選(成年の部)出場者
 - ④平成29年度の春季新人戦出場者
 - ⑤平成29年度の秋季新人戦出場申込者
- (2) 選考方法
 - ①平成28年度の中部日本の優勝者は、選考対象及び参加枠数外とする。
 - ②申込み資格対象大会の上位入賞者より、参加枠数に応じ決定する。
 - ③参加枠数への優先順位は、(1)の申込み資格対象大会の記載順とする。
但し、参加申込み数が参加枠数を超えた場合、(1)の①を優先し②～⑤の成績を総合的に判断し決定する。
 - ④複・混合複は、選考対象大会のパートナーでなくても出場可とするが、いずれの選手とも(1)の申込み資格対象大会への参加が必要とする。
 - ⑤参加枠内での参加申込数の場合、(1)の申込み資格対象大会参加のみで可とする。
この場合、申込み資格対象大会の初回戦での棄権は問わない。
 - ⑥中部日本の実施種目において、参加枠外となる種目への申込みにおいても、(1)の申込み資格対象大会への参加は必要とする。
また、この参加枠以外の種目毎に設定されている参加数制限については適応する。
 - ⑦申込み資格対象大会の参加種目は問わない。
 - ⑧最終選考は、競技委員会一任とする。
- (3) 申込みランキング
 - ①中部日本の参加資格(前回大会優勝者)
 - ②①項以外は、申込み資格対象大会の(1)の②の成績を基本に他の各成績を総合的に考慮し、決定する。
 - ③申込みランキングは、競技委員会一任とする。

4. 2 少年の部

参加数及びランキングについては、選手強化委員会と競技委員会で検討し、決定する。

5. 加盟連盟推薦枠

各大会の「申込み資格対象大会」を満たさない場合でも、会員登録先の連盟理事長・委員長の推薦があれば参加枠がある場合に限り、参加申込みを受け付ける。

- (1) 推薦条件
 - ・前年度に愛知県協会への登録が無く、転入等で平成29年5月1日以降に県協会登録された選手であること。(県総合選手権大会の締切以降の登録で「申込み資格対象大会」が無い。)
 - ・平成29年度の県社会人選手権大会に参加すること。(除、学生連盟)
- (2) 実業団連盟、社会人連盟、教職員連盟、レディース連盟、学生連盟を対象にする。
- (3) 申込み者は、別紙にて推薦申請書を作成し、各登録先の連盟に依頼すること。

以上